

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	4年次・後期・B群	
	対象学科・専攻	電気電子工学科	
ソフトウェア応用 (Applications of Software)	担当教員	前菌正宜 (Maezono, Masaki)	
	教員室	電気電子工学科棟1階 (Tel. 42-9071)	
	E-Mail	maezono@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	授業(100分)×15回		
[本科目の目標] 卒業研究時や就職後も必要となる Microsoft Officeの各ソフトウェアの操作方法を身につけ、また、C言語プログラミングの応用として、Windowsアプリケーションの作成を体験する。			
[本科目の位置付け] 本科目で学ぶ各ソフトウェアの操作法は5年次の卒業研究における、データ処理、論文作成、発表資料作成の基礎となる。			
[学習上の留意点] 本科目はコンピュータを用いた演習が主であり、実際のコンピュータを操作し反応を得ることが理解を深める最も有効な学習手段である。学生諸君には積極的に課題に取り組む姿勢をもってもらいたい。疑問が生じた場合は直ちに質問し、理解を深めることを要望する。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. OSの基礎	2	・オペレーティングシステム基礎を学び、その働きを理解できる。	OSについて図書館の文献やインターネット等を使って調べて、概略を理解しておく
2. Microsoft Wordの応用	4	・実験レポートや研究論文を Microsoft Word によって作成するための操作方法を身につけることができる。	Wordについて情報基礎IIの内容を復習しておく
3. Microsoft Excelの応用	6	・実験などで収集したデータを Microsoft Excel で適切に処理するための操作方法を身につけることができる。 ・Excelにおけるマクロの意味を理解し、基礎的な操作方法を身につけることができる。	Excelについて情報基礎IIの内容を復習しておく
4. Microsoft PowerPointの応用	4	・研究報告や発表に必要な Microsoft PowerPoint の操作方法やスライドの作成方法を身につけることができる。	PowerPoint について情報基礎IIの内容を復習しておく
5. コンピュータによる微分積分の近似計算	4	・離散値を扱うコンピュータにおいて、微分値、積分値の近似値を求める手法を理解でき、 Microsoft Excel を用いた演習を行うことができる。	微分、積分について関連する科目から基礎を復習しておく
6. コンピュータによる微分方程式	2	・離散値を扱うコンピュータにおいて微分方程式の特殊解の近似値を求める手法を理解でき、 Microsoft Excelを用いた演習を行うことができる。	微分方程式について関連する科目から基礎を復習しておく
7. C言語プログラミングの応用	6	・C言語を拡張したプログラミング言語であるC++を用いることによってWindowsのアプリケーションの作成が可能であることを理解できる。 ・C++によるWindowsアプリケーションの作成を通して、C言語の復習および、さらなる理解を深めることができる。	C言語プログラミングについて情報処理I～IVの内容を復習しておく
--- 後期期末試験 ---		授業項目1～7について達成度を確認する	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る	

